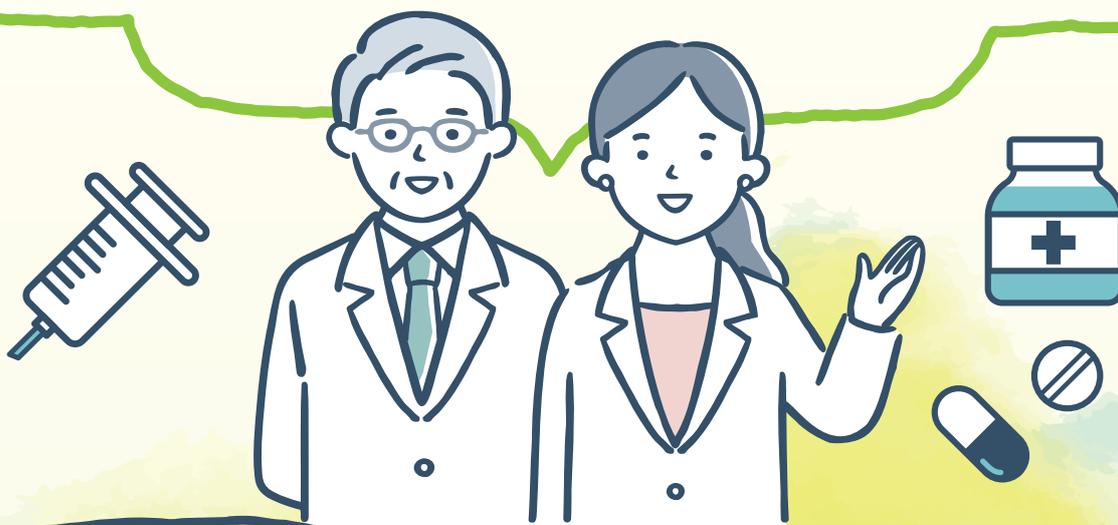


製薬会社が行う

『使用成績調査』

をご存じですか？



『使用成績調査』って
何だろう？



- 製薬会社は、「くすり」や「ワクチン」を発売する前に、治験を行い、そこから得られた効き目や副作用などのデータをもとに厚生労働省から製造販売の承認を得ます。
- しかし、発売された後、実際により多くの患者さんに使われるようになると、効き目や副作用に影響を与える要因などが明らかになることがあります。
- そのため、定められた用法・用量に基づき、より安全に、正しくご使用いただくために、製薬会社は発売後、医療機関から「くすり」や「ワクチン」の効き目や副作用などの情報を集めており、その方法の1つが『使用成績調査』*です。



*厚生労働省が
定めたルールに
従って行います。

ウラ面も
ご覧ください



『使用成績調査』で 集めた情報を何に使うの？



- 製薬会社は、集めた情報を分析して、その結果を国の機関*へ報告します。
- 医師や薬剤師などに「くすり」や「ワクチン」の最新の情報を提供するように努め、定められた用法・用量に基づき、より安全に、正しくご使用いただけるように役立てます。
- いずれの場合も、患者さん個人が特定されることはありません。

* 厚生労働省および医薬品医療機器総合機構(PMDA)です。

『使用成績調査』において、 患者は何かするの？



- 普段の診察の中で、医師が記録した情報をもとに行う調査ですので、患者さんご自身に特別にさせていただくことはありません。

使用成績調査が行われているかにかかわらず、
「くすり」や「ワクチン」を使って気になる症状が現れた場合や、異常を感じた場合は、
医師や薬剤師などにお知らせください。



企画・編集 日本製薬工業協会 医薬品評価委員会
ファーマコビジランス部会

日本製薬工業協会
患者さん・一般の方(くすりについて)の
ホームページはこちら
https://www.jpma.or.jp/about_medicine/index.html

